

川に川に川に川に川に川に

みぶ町政だより



No.207

6

月号

昭和51年6月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可一部9円

-628-



町をきれいにしよう

今月の人口

6月1日現在 対前月比	
総人口31,323	119人増
男 15,542	70人増
女 15,781	49人増
世帯数 7,967	72世帯増

6月は“環境整備の月”として生活環境の整備促進を図るため、
みなさんのご協力をお願いしていましたが、16の自治会が積極的に
実施して、カやハエの発生源となる側溝の清掃に努力されました。
また、これには、6月22日に町の建設業協力会(7社)の方々がそ
れぞれトラックを出して協力されました。

7月は“健康管理の月”です。(暑くなります。夏バテに注意しましょう)



タバコは
町内で
買いましょう

免許更新時講習
七月の日程は、次のとおりです
●九月(金) 中央公民館
●二十九日(木) 独協医科大学
時間は、いずれも午前十時から



184

鳥居家中興譜について

壬生の歴史については、郷土史の大先輩笛田元重氏および大垣八郎氏が十数年にわたり、この欄に詳しく読んでいたために、広報紙にみなさん作って、催なとまた、「意見などを掲載したい」といふことをございました。どしどしお寄せください。

ご連絡をお待ちしております。

企画課 広報係へ

電話②二三三四 内線五一

七月の日曜は、次の医師のお休みになります。

当番医師の診療はございません。

日 月 名 医院名 電話

四日	上通町	小倉要医院	(2) 1195
十一日	東武第二	菱田 医院	(6) 2112
十八日	城内	陳内 医院	(2) 0242
二十五日	栄町	松本 医院	(2) 0202

時間は午前九時から午後四時

来ません。

ただ、車塚、愛宕塚、牛塚などは下野国をひいた豊城入彦命の子孫壬生部氏の墓ではないかと推察がされるだけであります。あつたかななど、どんな方法をもつても明らかにすることは出

ません。

なぜかといえば、例えは壬生にいたるまでも、そのころなども澤山ある古墳が一体誰の墓であつたか、また、そのころなどもあつたかななど、どんな方法をもつても明らかにすることは出

ません。

史は一応書きまとめて居りますので、方針をかえて民衆を中心とした方向に迷つていました。まだまかは、伝説等があるだけで、わしかくわからず居ないことは残念なことです。

時代に小堀氏が壬生城を築き、千数百年前のことが見えたのは、壬生の歴史は古代から飛鳥、奈良、平安、鎌倉各時代を経て、室町時代に小堀氏が壬生城を築き、明治維新まで五百余年の間で、主に忠博氏が守護を務めました。忠博氏は戦前は子爵の位にあつたお方で、名利にこだわらず、元生城本丸の地（現壬生城敷地）を町に寄附されたのです。

島居忠博氏が逝去されました。

島居家の先祖は正徳2年から明治維新まで、五百余年の間に、主に忠博氏が守護を務めました。忠博氏は戦前は子爵の位にあつたお方で、名利にこだわらず、元生城本丸の地（現壬生城敷地）を町に寄附されたのです。

島居家の昔のことを書いた島居家文庫と、う古籍が石崎達先生の蔵書があり、もう一度読み直して島居家を遊びたいと思います。

「筆者前教育長 藤田菊太郎」

お知らせがおくれますから早く配布しましょう。